

中国・韓国・アメリカ・EUなど、諸外国の放射能輸入規制に対応。
農林水産省にも指定されている愛知の測定機関が、製造・輸出業者向けサイトを刷新。



輸出担当者様へ

WTO加盟国150ヶ国以上で、
使用可能な報告書。
**「政府作成の放射性物質検査
証明書」**の代わりに使用可能。

「株式会社 八進(本社：愛知県刈谷市 代表：加藤弥純門)」が、諸外国の放射能輸入規制に悩む輸出業者や製造業者などを対象に、国際規格に基づく放射能検査サービスを提供する専門サイト(hasshin-trade.com)を、7月21日に刷新した。

東日本大震災以降、日本産食品に諸外国から輸入規制が掛かった。2017年7月11日には、EUが福島県産のコメなど一部の食品を規制除外する方針を示したが、今現在も厳しい規制が世界各国で続いている。

そうした現状の中、「株式会社 八進」は諸外国への輸出時に必要となる、日本産食品(野菜、果物、加工食品など)の放射能測定を行っている。創立は東日本大震災後の2011年8月。2013年3月には国際規格であるISO17025の認定【*ISO/IEC 17025(2005)認定(PJLA 認定#75055)】を受け、翌年には農林水産省の「諸外国に輸出される食品にかかる放射性物質検査機関一覧」にも登録された。

「ISO(International Organization for Standardization: 国際標準化機構)」は、スイスのジュネーブに本社を置く、国際間の取引をスムーズにする為の共通基準を定める組織。2万近くある規格は工業製品や食品安全、農業、医療と全ての分野をカバーし、日本工業標準調査会(JISC)も加盟している。また、国際規格は国際強制力を持つWTO(世界貿易機関)に準じ、認定機関の報告書はWTO-TBT協定に基づきWTO加盟国で通用する。

「中国向けの輸出を考えているのですが……」といったものが、近年最も多く寄せられる案件となる。中国は現在、10都県(福島、宮城、茨木、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、新潟、長野)の全ての食品について輸入停止措置を取っており、10都県以外でも野菜や茶葉などの食品は「放射性物質検査証明書」が求められる。八進ではこの「放射性物質検査証明書」を作成することが可能であり、中国向け輸出にも対応している。

現在、八進は諸外国の輸入規制でお困りの業者に自身のサービスを知ってもらうべく、広くメディアからの取材を募集している。放射能関連の貿易や輸出入でお困り、或いは関心のある方は、お気軽に担当者まで連絡を。

■登録・認定

農林水産省	「諸外国に輸出される食品にかかる放射性物質検査機関一覧(平成 29 年 5 月 1 日)」 http://www.maff.go.jp/j/export/e_shoumei/pdf/170501_laboj.pdf *愛知県の欄より「(株)八進」
「ISO/IEC 17025(2005)認定(PJLA 認定 #75055)」の認定について	「PJLA's Listing of Accredited Labs」 http://www.pjlabs.com/search-accredited-labs *search 欄より「hasshin」で検索 Certificate No. L15-144 Accreditation No. 75055
試験項目	ヨウ素-131、セシウム-134、セシウム-137
対象品目	食品等、肥飼料、環境試料
検査	ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトリメトリーによる核種分析

■会社情報

社名	株式会社 八進(かぶしきかいしゃ はっしん)
設立	2011 年 8 月
本社所在地	〒448-0803 愛知県刈谷市野田町北屋敷 101-1
代表	加藤弥純門(かとうやすひろ)
食品や土壌などの放射能測定を行っている「株式会社八進」のHP	 https://gamma-spectrometer.com 「八進」で検索
国際規格に基づく放射能検査を専門にしている「八進トレード」のHP	 https://hasshin-trade.com 「八進トレード」で検索 「放射能 輸入規制」などで検索(上位 5~7 位表示)

■本件に関するお問い合わせ

問い合わせ先	株式会社 八進 加藤
電話	0566-21-0350
FAX	0566-91-5535
E-mail	info@gamma-spectrometer.com